

## 2019年 蔵本地区国際交流の夕べを開催しました。

12月10日（火）、キッチンSAKULA（蔵本キャンパス 蔵本会館1階）で、「2019年 蔵本地区国際交流の夕べ」（大学院医歯薬学研究部主催）を開催しました。この交流会は、母国を遠く離れて徳島に暮らす蔵本地区の留学生が、相互にまた日本人学生や教員とも交流を深め、徳島での楽しい思い出を母国に持ち帰ってもらうことを目的として毎年年末に行われています。16回目の開催となった今回は、12カ国（インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル、中国、バングラデシュ、インド、ネパール、ブラジル、アメリカ、日本）、98名が参加しました。

交流会は、苛原稔 医歯薬学研究部長の開会の挨拶で始まり、参加者は食事と歓談を楽しみました。食事の合間には、日本人学生による「ENGLISH+」についてのプレゼンテーションに続いて、中国人留学生による古筝の演奏、ベトナム人留学生による歌やダンスの披露がありました。最後に行われたプレゼント争奪ジャンケン大会は大いに盛り上がり、参加者は時の経つのも忘れて楽しく交流を深めました。



苛原研究部長の挨拶



中国人留学生による古筝の演奏



ベトナム人留学生による歌の披露



プレゼント争奪ジャンケン大会で盛り上がる参加者



苛原研究部長を囲んで参加者で記念撮影